

山笠【やまがさ】



開催場所

田川郡赤村大字赤
下赤区

開催日

5月4日・5月5日

【芸能の概要】

山笠は、下赤地区で行われていた大山祭に由来する。この大山祭は、下赤地区の各集落単位（油須原、川東、川西、合田など）がそれぞれ山（神輿）を持ち寄り、我鹿八幡神社の神幸祭として行われていた。それが次第に各集落単位で行われるようになり、山笠という現在の様式になった。中でも下赤区では山笠保存会が中心となって、芸能の保存を積極的に行っている。また油須原は油須原区となり、神幸祭を独自に行っている。

【芸能の特徴】

我鹿八幡神社は1608（慶長13）年に山頂から現在の麓に移転し、かつては郷社としての役割を果たしていた。神幸祭については、詳しい由来は定かでないが、疫病が流行したためではないかといわれている。1804（文化元）年の記録が残っている。古くは「大山祭」と呼ばれ、下赤地区の集落（油須原・川東・川西・合田・山浦など）が山笠・神輿を持ち寄っていたが、次第に各集落単位で行われるようになった。1804（文化元）年以降、戦時中も途絶えることなく行われて来たが、山笠については戦後人手不足のため消滅した。10年前に山笠保存会により、かつての3基のうち1基が復活し、現在に至っている。神幸祭を取り仕切っていたのは、かつては組内の当番組であったが、のち青年団の手に委ねられ、現在は山笠保存会・子供会が中心となっている。

【使用する祭具・道具など】

山笠には太鼓・鉦がつき、祭典の際の囃子は笛・太鼓・鉦の3名で構成される。

・アクセス

平成筑豊鉄道、油須原駅下車徒歩30分

・周辺の観光

源じいの森（赤村自然学習村）
内田三連橋梁（みつあんきょう）
源じいの森温泉（赤村ふるさとセンター）
村民体育大会（赤村コミュニティ広場）9月
赤村文化祭（赤村コミュニティ広場）11月
ザ・夏祭り（赤村コミュニティ広場）8月

・近くの特産品

まくわうりイチジク赤村産米（ミネアサヒ）
シイタケのからし漬けスイカ

